

学部・研究科（学年）	社会科学部法政システム専攻（3年）
トビタテ 期	第 5 期
コース	■ 新興国コース
留学計画のタイトル	ブラジル刑事法のスペシャリストになり、日伯間の刑事法問題を解決することで、友好関係の強化をはかる
派遣先・地域・機関	ブラジル・サンパウロ サンパウロ大学 (Universidade de São Paulo) 二宮正人法律事務所 (Advocacia Masato Ninomiya)
期間	2016年9月19日～2017年9月15日（362日間）
実践活動の種類	<input checked="" type="checkbox"/> インターンシップ（無給） <input type="checkbox"/> インターンシップ（有給） <input type="checkbox"/> ボランティア <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> 支援企業コラボインターンシップ <input type="checkbox"/> その他_____
留学プログラム	<input type="checkbox"/> HUSA/USAC <input type="checkbox"/> その他学内プログラム_____ <input checked="" type="checkbox"/> その他_未使用_____
派遣先機関のを見つけ方 コンタクトの取り方	トビタテ！での留学前に大学間交流協定に基づき留学をした時のコネクションを使った。
留学した理由	私はブラジル刑事法を専門に研究しているが、日本にはこの分野の文献が少なく、専門の研究者も見当たらないため、実際にブラジルに渡航して文献の収集や専門教員の指導を受ける必要があった。
留学前体験談 <input type="checkbox"/> 計画作成のコツ <input type="checkbox"/> 面接のコツ	<p>計画作成にも面接にも共通して言えることだと思うが、トビタテがどのような性格を持った奨学金であるかを理解することが最重要なので、まずは募集要項を熟読したり、インターネットやSNSで情報収集を行ったりした。そして自分のやりたいこと、それを究極に突き詰めればどれだけのことができるかを考え、計画を作成。学内のキャリアセンターに行ってアドバイスをもらい、それを基に計画書のブラッシュアップを行った。（自分のトビタテ的な良さが計画書から失われてしまわないように注意すること。）計画書はエクセルで作成したので、フォントや文字サイズにも気を配った。</p> <p>書類審査合格後は、学内のトビタテ合格者の方にコンタクトを取り、面接の練習をした。</p> <p>自分のやりたいことと、それを最大限突き詰めれば日本あるいは留学国にどのようなインパクトを与えることができるかを専門外の人にもわかりやすく伝えることに気を配った。</p>
留学中体験談 <input checked="" type="checkbox"/> 成功体験 <input type="checkbox"/> 失敗体験	<p>裁判所訪問の際の通訳を頼まれたり、日本の判例の翻訳を頼まれたりと、今の自分の能力からすれば多少無理目なタスクを頼まれたりするが、失敗することは覚悟のうえで基本的に受けるようにしている。意外とうまくできることもあったし、たとえ失敗したとしても次は初回よりはうまくできるはずなので、確実に成長できている。</p>

<p>留学全体の体験談</p> <p>■トビタテでよかった事</p> <p>□留学前後で変わったこと</p>	<p>トビタテでは、多様な志を持った学生や、世界を牽引する社会人の方々など、普通に大学生活を送っていたのではなかなか出会うことのできない人達が集まるコミュニティに参加することができます。コミュニティは留学後も続きます。この出会いは、大げさでなく人生を変えるものになると思います。</p>
<p>広大生にひとこと</p>	<p>トビタテは、支援額も大きく、全国から集まる日本屈指の志を持った学生たちのコミュニティに参加できるにも関わらず、合格倍率や成績要件等のハードルは決して高くなく、やる気さえあれば合格できる類を見ないほどにお得な奨学金だと思います。</p> <p>是非応募を検討してみてください。</p>

